



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 319
October
2019

トピックス

関係機関との防災協力推進

UNICEFキルギス学校及び住民防災教育研修の実施

国際会議への参加

UNESCAPによる砂塵嵐災害対応のための専門家会合

ADRC客員研究員レポート

オズギュル・ツナ・オズマン (トルコ)

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

© ADRC 2019

●関係機関との防災協力推進

UNICEFキルギス学校及び住民防災教育研修の実施

アジア防災センター (ADRC) はUNICEFキルギス事務所と協力し、キルギス共和国の13名の政府職員及び政策立案者を対象とした学校及び住民防災教育研修を実施しました。研修は、日本の「防災週間」の期間にあたる2019年8月31日から9月5日の1週間に実施され、参加者は日本の学校やコミュニティにおいて、防災の実践や優良事例を共有し、学びました。



千葉における合同防災訓練の見学

参加者は、防災体験学習施設であるそなエリア東京への訪問から研修を開始し、地震災害に関する実用的な知識や地震から身を守る方法について学びました。9月1日には、千葉県船橋市で開催された9県都市合同防災訓練を見学しました。参加者は初めに防災の知識や技術について紹介を行っている展示ブースを見て回り、その後、主会場で多くの関係者が協力して実施する、道路啓開、情報収集、様々な被災現場からの捜索救助、医療援助の訓練を見学しました。参加者は、大規模な共同訓練に感銘を受け、効果的な対応を行うための整った協同行動から多くの学びを得ました。

また、参加者は横浜や神戸の学校を訪問し、学校での防災教育を見学し、実践的な防災授業のアイデアを学びました。そして、文部科学省からは日本の防災教育制度について、兵庫県教育委員会からは日本では過去の災害の経験からの学びをもとにいかに防災教育を広げてきたかについて学びました。

参加者は、研修で学んだ知識、技術、方法を活用して、今後キルギス共和国における「学校安全プログラムを支援するためのプロジェクト」の効果的な実践を行っていくことが求められています。

●国際会議への参加

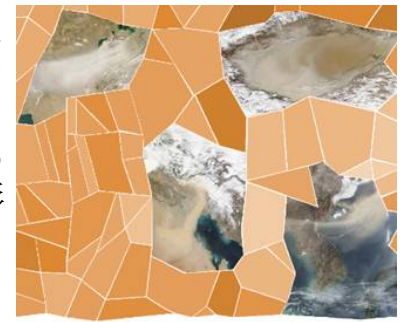
UNESCAPによる砂塵嵐災害対応のための専門家会合

ADRCは、国連ESCAPで開催された砂塵嵐災害対応のための専門家会合に参加しました。会議は2019年8月27日、28日にバンコクの国連会議センターで開催されました。砂塵嵐災害は国連ESCAPが主導して注目されるようになった災害ですが、持続的開発のための2030年アジェンダの一部として採択された持続的開発目標の達成にとって大きな障害となるものです。

ADRCのメンバー国のうち、中央アジア、南アジアの諸国においては、こ

続き

の災害によりこれまでも大きな被害を被ってきました。気候変動はその後、この災害の発生する場所、頻度、影響の大きさなどの点で大きな関係があることに留意する必要があります。会議では、ADRCは砂塵嵐災害のモニターのための衛星リモートセンシング技術を紹介するとともに、当該災害について気候変動の影響を勘案した中長期的な影響評価シミュレーションに関心があることを説明しました。



Sand and Dust Storms in Asia and the Pacific:

Opportunities for Regional Cooperation and Action



(右) UNESCAPの砂塵嵐災害に関する出版物

●ADRC客員研究員レポート

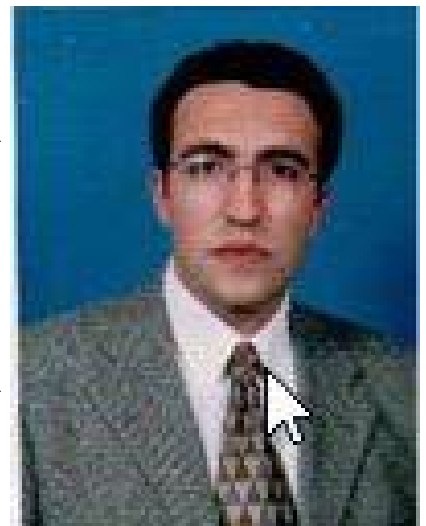
オズギュル・ツナ・オズマン（トルコ）

私は、トルコの首相府災害緊急事態対策庁（AFAD）計画・リスク削減部に所属する地球物理専門の技術者です。トルコは、大陸間にわたる国で、主に西アジアにあるアナトリア半島から、南東ヨーロッパに位置するバルカン半島に位置しています。トルコで発生する主要な災害は、地震、洪水、地滑りです。人口の72%は、地震の多い地域に暮らしています。

このことから、AFADの使命は、人々の災害に対する意識を啓発し、「災害に強い社会」を構築すること、そして、トルコ社会において「災害に敏感な文化」を構築することです。また、AFADの目的は、「国家防災戦略」と連動した統合的な防災システムを実施することです。「国家防災戦略」には、発災前、発災時、発災後における防災サイクル・全フェーズを網羅し、どの関係者が関与するのか明記されています。

ご存じのとおり、ADRCは1998年7月に設立され、3つの活動「情報共有」、「能力向上」、「協力」を柱に、多国間防災協力を推進しています。我々の多くは、災害の経験や知識の共有、様々な知見のネットワーク化は、効果的な防災において、必要不可欠であるとわかっています。

ADRCの客員研究員プログラムは、さらなる経験と、日本における防災の優良事例を学ぶ機会を私に与えてくれるものと強く信じています。ADRCのメンバー国において、災害への技術や対応力が向上し、リスク削減といった重要な課題が、将来達成されることを願います。



問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。